



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第9号  
令和 3年 9月 7日  
発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



## 桜樹祭の実現と成功を目指して！

校舎前のサルビアの鮮やかな赤い花が咲き始めました。例年ですと、2学期が始まって間もない頃はまだまだ残暑が厳しいため、小まめな水分補給に心がけるなどの暑さ対策を徹底しながら、学校全体が桜樹祭（学園祭）モードとなり、全校生徒が一致団結し、集中して力を合わせて取り組む、暑く、そして熱気あふれる2週間となります。

しかし、今年は、7月下旬以降、全国ならびに県内の新型コロナの感染者数が急激に拡大したため、山梨県ならびに市川三郷町が9月12日までの「まん延防止等重点措置」の対象地区に指定されたことにより、学校生活においても、より一層の感染防止対策の徹底が求められることになりました。2学期の開始以降も今まで以上の新型コロナ感染防止対策を講じながら、学習活動や桜樹祭に向けての取組を実施していますが、多くの学校生活は、集団での生活や活動を通して、力を合わせ、声や気持ちを合わせ、互いに認め合い支え合いながら、個としても集団としても大きく成長することを期待して実施していきます。

一方、感染防止対策は生徒たちの安全と安心を守るために、活動そのものに制限を課すものがほとんどです。つまり、相反する2つの側面として、適切な対策の模索と残すべき活動や改善すべき活動の検討。さらには限られた活動の中で、最大限の成果を引き出すための工夫など、例年どおりではない桜樹祭をいかに実施し、成功に向けて進んでいくか。日々「課題解決」と「創造」の視点で桜樹祭の開催を信じ、生徒ならびに教職員がその実施に向けて、悩み、工夫し、ともに単純な正解のない答えと可能性を探りながら、今まで取り組んできました。

9月11日に予定していた桜樹祭の日程を、まん延防止等重点措置の期間後の9月18日に変更し、内容についても、大きく削減や変更をしておいた桜樹祭となりましたが、今回の桜樹祭が、テーマ『宇宙(そら)～無限大の可能性～』のもと、十分な感染防止対策をとりながら、安全と安心の中で桜樹祭が開催され、生徒たちが限られた内容と活動であっても、達成感や満足感を得られるよう、そして、保護者の皆様には生徒たちの活動の成果を参観していただけますよう、これからも取り組んでいきたいと考えております。



## 中学校交通・防犯弁論大会 大健闘！

新型コロナの感染拡大の影響で、各校の代表者が一堂に会して実施されてきた中学校交通・防犯弁論大会が、今年度はビデオ審査に変更しての開催となりました。六郷中学校からは交通安全弁論の部に、3年生の佐藤友菜さんが、演題「安心できる環境づくりへ」を発表して『優秀賞』を受賞し、防犯弁論の部には、同じく3年生の川崎恵愛さんが、演題「心の居場所」を発表して『最優秀賞』を受賞しました。ともに鵜沢警察署管内の6校の各中学校代表が競い合う中で、勝ち取った栄冠です。

2学期早々に行われたビデオ収録では、立ち会った先生方からも「それぞれの思いがとても強く伝わってくる素晴らしい弁論でした」とのお話があるなど、六郷中の2人が大健闘した弁論大会でした。